

あぶらむ通信

第8号 1990年10月14日 あぶらむの会発行

〒509-41 岐阜県吉城郡国府町宇津江 TEL 057772-4219, 3828

あぶらむの宿完成間近!



飛驒だより

台風19号の暴風雨が過ぎると、急に秋風が吹き始めました。里を囲む山々も少しづつ色づき始めました。米の刈入れも間近、実りの秋です。あぶらむ通信をお手になさっている皆様には、お元気でお過しのことと思います。いつもお寄せ下さる多大なご援助に、厚くお礼申し上げます。

あぶらむの里の土地購入を終えて一年余、この間、私たちの活動基地となるべき“あぶらむの宿”の一日も早い完成が、現地で働く私たちを含めあぶらむの会に関わる多くの人々の願いでありました。しかし、その願いが今まさに実現しようとしているのです。

6月中旬、地元の柳組の手によって、購入した古家の解体作業が開始されました。建っている時は堂々としていた家も、解体が進むにつれて実にみすばらしくなっていくのです。それを見るのは心細い限りでした。「大丈夫、心配することはないヨ。組

立って行けば、今まで以上に立派なものになるから」と、棟梁の片町さんが励ましてくれました。

百年以上もたった家を解体するのは容易なことではありません。実に根気のいる仕事でした。柱についたススで炭坑夫のように、顔を真黒にして働いて下さった柳組の皆さんの姿を忘れることはできません。

そして7月8日、後援会代表世話人の八代先生ご夫婦はじめ、多数の来客を迎え、あぶらむの宿の棟上げが祝われました。その日は一日中夢を見ているようでした。その日から三ヵ月、片町建築が総力をあげて仕事をして下さっています。そして、今まさに念願の宿が出来上がろうとしているのです。

建築を担って下さっている片町さんと私たちの約束は、建築に必要なかかっただけの費用を支払うということで、材料費と大工さんの日当がその中味です。従って、片町建築には経済的損失こそはあれ、利益は全くないのです。「人生の旅人が真に安らぐ宿をつくりたい」、そんな私たちの願いに共感されて、片町さんはボランティア精神で仕事をされているのです。

しかし、大工を5人もかかえる片町さん、いつまでも利益のない仕事に関わっているわけには行きません。当初は8月まで全員で関わり、残りは冬仕事として来春までに完成させる予定でした。しかし、組立って行けば立派なものになるヨという言葉通り、建築中のあぶらむの宿は、一日一日旅人を迎えるべき心安らぐ宿へと成長していくのです。そして片町さんもその姿にホレたらしく、ここまでくれば俺も早く完成した姿を見たいと、請負っている仕事を下請に出してまで、あぶらむの宿に全力を投入して下さることとなりました。そして、11月24日竣工式と決定し、作業の日程に区切りをつけることとなりました。

建築費の調達はあぶらむ債の発行でまかなって行くということで出発した宿の建築、今回も多くの方々の御協力で約1700万円の建築資金が寄せられました。本当に感謝にたえません。伏して厚く々お礼申し上げます。

竣工式当日は、この建物が与えられたことの神への感謝と、多大な労力をもって完成して下さった建築関係者への感謝と慰労、そして多くの協力をお寄せ下さった地元の人々への感謝を表したく思っています。そして、物心両面でご協力下さっている皆様には、冬を迎える季節よりも、暖かくなった来春にお披露目させていただく予定でいます。

あぶらむの会が発足して4年、二年目にして土地が与えられ、四年目にして活動基地となるべき宿が与えられる、ただ々不思議の限りです。このような不可能と思われた私たちの夢を実現させて下さった神と皆様になんぞ感謝で一杯です。感謝を表わす言葉が見出せないことにはがゆさをおぼえます。本当にありがとうございました。

あぶらむの宿完成の喜びと共に、同時に建築費のさらなる調達等、多くの難問をかかえている私たちです。あぶらむの会の働きへの一層のご理解とご協力をたまわりま

すよう心中よりお願い申し上げます。

近い将来、新築なったあぶらむの宿で、ご協力いただいた皆様方とお会いできることを心より楽しみにしております。

恵の秋、そしてやがて寒さに向います。呉々もご自愛くださいませ。神の御守りをお祈りいたします。

1990年9月24日

あぶらむの会代表 大郷 博

「へりくだる者に恵み」—感謝の極みであります

あぶらむの会後援会代表世話人 八代 崇

“あぶらむの会”の支え手たちは、とてつもないことをやってのけようとしています。“あぶらむの里”を建設しようという夢を抱いて、“あぶらむの会”が池袋の中華屋さんで発足した今から4年前に、そこに集った世話人たちの中に、“あぶらむの宿”の建設が予定どおりに進捗することを実感していた人が果たして何人いたでしょうか……。

その時に「とにかくやるっきゃない。神さまは、本当に必要なものは必ずお与えくださるのだから」と言ったK君の言葉を、「大丈夫だろうか。大変なところに首を突っ込んでしまった」というような顔で聞いていた人も、何人かいたような気がします。

土地取得を募金によって実現し、“あぶらむの宿”の建設資金を「あぶらむ債」によって調達しようという試みは、確かに不安の多い出発ではありました。しかし“あぶらむの会”は、大郷君という偉大なボスを推載し、彼に宿る信仰の光に照されて、そこに集う多くの人たちの力強い支援を獲得しつつ、間もなく所期の目標を達成しようとしているのです。

イエス・キリストの使徒ペテロは、各地に離散・寄留している仲間たちにその第一の手紙5章で次のように呼びかけています。「神は高ぶる者を退け、へりくだる者に恵を与えよう」。そして更に続けます。「もろもろの心づかいを神に委ねよ」と…。

大郷君とその活動を支えている日本全国に散らされた人々は、ゼロからの旅立ちに加わった守るべきものを何も持たない人たちでしたから、当然にも「へりくだる者」でなければ、計画そのものを一步も進めることができませんでした。

しかし彼等には、“あぶらむの会”が目指そうとする夢の実現を願い求める情熱だけはあったと思われます。そしていよいよ“あぶらむの宿”の竣工式が迎えられます。まさに感謝の極みであります。

なお、「あぶらむ債」の発行は当分続けなければならない状況にありますので、今後ともみなさまの倍旧のご支援をお願いする次第であります。

後援会事務局だより

日頃、あぶらむの里建設のためにご協力いただきありがとうございます。

いよいよ私たちが夢見てきた“あぶらむの宿”の竣工式を迎えることになりました。

あぶらむの会発足以来、後援会は会の働きを支えるために、これまで募金活動を続けてまいりました。お蔭様で、募金、あぶらむ債を合わせ、約4800万円にも上る資金を調達することが出来ました。皆様方には心より感謝いたしております。皆様方から寄せられた資金を元に、土地を取得し、多目的ホール、作業小屋を建設し、今、宿が完成しようとしています。しかしながら宿完成までに、当面1000万円あまりの資金が必要となってまいります。何卒、今一度、皆様方のご協力とご支援を賜わりたく、心よりお願い申し上げます。
(事務局 西田)

9月15日現在の募金ならびにあぶらむ債の申し込み総額は以下の通りです。

募金申し込み総額 31,187,880円

あぶらむ債(1口10万円、5年間借用、無利子) 17,200,000円

※送金先 (募金、あぶらむ債共通)

郵便振替 東京7-255427 あぶらむの会後援会

銀行振替 第一勧業銀行池袋西口支店190-1434235

あぶらむの会後援会 代表世話人 八代 崇

○9月15日現在の募金申し込み者(順不同・敬称略 9月15日以降の方は次号にて)

精谷珠子 藤倉待子 中村洋 池田寿美子 熊谷一綱 橋本禮子 W・F・ハナマン 高野アサノ 内田タエ
木島出 阿久津富男 渡辺隆 萩原久子 川上美砂 北山和民 丸山恵司・悦子 原田昌浩 阿部潮音 伊藤友
昭 一丸直也 高坂征男 佐口哲 塩田敏雄 小松英樹 原亜紀子 二瓶利夫 木田献一 滝沢助蔵 菊池武弘
小田倉正典 斉藤孝 浅野登志恵 キープ協会 河野裕道 黒井ミヤ 大橋忠雄 岸元忠義 鶴田正芳・陽子
西村元宏 中村太郎 高沢正子 佐々木国夫 松岡和夫 川村幸子 三浦直子 大澤浅香 武市悦子 伴欣征
関田寛雄 山本文夫 田尾兵二 赤尾昌人 関正勝 鈴木茂男 佐藤一宏 角田信三郎 松本信代 河村博之
祈りの家協会 入川ヨシ 玉城清栄 大嶺佐智子 大城恵子 山本照子 中村正実 鏑木武弥 矢部直美 屋直
宣輝 島田マツ 嘉手苺米子 玉城カナ 田中誠 長尾文雄 石井秀夫 須貝千世子 紀雅広 入澤喜夫 高橋
正子 武藤勝弘 波多野春子 高瀬由香 鶴川久・貴子 矢部直美

○9月15日現在のあぶらむ債申し込み者(順不同・敬称略 9月15日以降の方は次号にて)

林英夫 吉羽真治 伴義裕 澤木敬郎 宮崎秀貴 松田麻起子 佐藤哲典 小川美紀 小川卓 熊谷一綱 西田
邦昭・賀瑞実 長谷川勉 高瀬俊夫 高瀬裕子 高瀬由香 高橋健人 鈴木康仁 西村正和 新倉俊吾・久乃
河野正司・マリ子 今里伸 橋本禮子 吉川仁 田中尚代 西村哲郎 佃正晟 山下恭弘 佐藤裕 鈴木茂男
大下大圓 西川貞子 寺西伸平 大脇一生 大脇博 外村民彦 深井薫 小原孝子 湯浅雅弘 鈴木豊子 甲藤
善彦 八代崇 深野毅 高瀬留美 高橋清子 飯田尚明・麻子 野崎節子 加納厚・美津子 賀来信一 内藤武
舟田正之 永原照明 木村敦子 宮崎知子 大島雅子 高田建夫 尾針恵子 戸田三三冬 菅野忠行 野崎久
子 筒井健作 馬場康弘 大道次子 岩坪哲哉 藤倉良昭 沢田京子 寺西祐子 菊澤満喜子 山田益男 筒井
啓子 杉浦教二郎 木下春子 百井幸子 中村ひろ子 鶴川久・貴子 伊藤友昭 荒木伸怡 中村正実 奥山広
子 青柳真智子 榎原伸 高野勇 岡田賛三 佐藤良徳・美子 城下彰 阿久津富男 三原達也 オカダヒロシ